

※詳しくは☎にお問い合わせください。

看護職、介護職向け合同面接会を開催します

図政策企画課企画統計係
☎ 63-1274

少 子高齢化、人口減少の進行を抑制するため、移住定住の促進と、市内医療機関・介護施設などでの就労を支援する取り組みを実施します。

【看護職・介護職向け合同面接会】

- 日時 2月18日(土) 午前10時～午後3時
- 面接会場 市役所内会議室（詳細は申込者へ別途ご連絡します）
- 対象者 看護師、介護福祉士などの資格を持ち、主に三大都市圏、福岡圏に居住し、市内への就労と移住を検討している人。市内在住で就労を希望する人の申込も可能です。
※事業所により募集職種が異なります。面接会に参加する事業所など詳しくはお問合せください。
- 申込締切 2月15日(水)
- 申込方法 政策企画課に履歴書などを添えて事前に申し込みしてください。
※申し込みされた場合でも、マッチングの都合により面接の受け付けができない場合があります。



◀Uターンを希望の市外在住の人にもぜひお知らせください

【看護学生向け合同就職説明会】

ナース専科就職ナビ 合同就職説明会

- 日時 2月11日(土) 正午～午後5時
- 場所 東京都江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト 西3ホール
- 参加費 無料
- 対象者 看護師、准看護師、保健師、助産師などの資格を取得する予定の学生
※参加する医療機関、アクセス方法などについては、「ナース専科就職ナビ 合同就職説明会」のホームページでご確認ください。

もっと知ろう!! 障がい福祉 vol.3

図荒尾市障がい者自立支援懇談会
くらし部会事務局福祉課
☎ 63-1406

今月は、障がいのある人が利用できるサービスについて紹介します。

1. 障がいのある人を支援する法律って?

「障害者総合支援法」という法律があり、障がいのある人の「こんな生活をしたい」「こんな手伝いをしてほしい」という気持ちを福祉サービスという形で応援する法律です。

2. どのような人が利用できるの?

身体障がい・知的障がい・精神障がい（発達障がいを含む）・難病（332疾病）のある人が利用できます。原則65歳未満の人が利用でき、65歳以上の人は介護保険サービスを利用することとなります。ただし、介護保険に無いサービスは利用することができます。

3. どんなサービスが受けられるの?

右上図をご覧ください。自立支援給付は介護給付と訓練等給付に分かれ、介護給付は障がいのある人が困っている部分をお手伝いすることで自立した生活をサポートします。訓練等給付は訓練や支援を通して仕事や自立した生活を送ることが

【次号は障がい福祉サービスの具体的な内容について、紹介します】



できるようサポートします。どのサービスも、個別支援計画に沿って支援を行います。その他、地域生活支援事業では、市町村などが地域の特性や利用者の状況に応じて柔軟にサービスを実施しています。

国民健康保険加入者に人間ドックの助成を行います

図健康生活課国保年金係
☎ 63-1327

国民健康保険加入者で平成28年度に人間ドックを受診した人が結果票の写しを提出されると、3,500円助成します(1人につき年度内に1回)。なお、特定健診対象者(40～74歳)がこの申請で情報提供した場合、特定健診を受診したことと同じ扱いになります。助成を受けたい人は早めにお手続きください。ただし、国民健康保険の加入期間中に受診したものに限りません。

●申込締切

3月31日(金)
※年度末に受診した人など、検査結果の提出が間に合わない場合は、受診してから2カ月以内に提出してください。

病気の予防と早期発見への近道です。健康へのフルスイング!



▲国保イメージキャラクター 稲村亜美

●申込方法

健康生活課国保年金係で直接申し込み

●持ってくるもの

人間ドック結果票、保険証、印鑑(朱肉を使うもの)、振込用通帳、特定健診・若年者健診受診券*
※既に特定健診を受診している人は不要です。

地域おこし協力隊 活動便り Vol.7

荒尾市地域おこし協力隊の4人の隊員は、最長3年の任期のもと、荒尾の魅力を知り、その魅力を伝え広げる活動を日々行っています。

毎月2人ずつ交代で、主な活動内容や活動予定を語ってもらいます。

◆須田賢士郎隊員(平成28年1月着任/広報担当)

最近、フォトギャラリー作成、協力隊のロゴデザインやグッズの作成に取り組んでいます。フォトギャラリーでは、今までに取材をさせていただいた地域の取り組みや、お店に関するちょっと奥深い情報を掲載しています。またイベント情報も掲載しています。今後、まずは市内のいろんな施設などにご協力いただき巡回展示していきたいと思っていますので、見てもらえると嬉しいです。協力隊のロゴは、広報紙が発行されている頃には完成していると思いますので、ぜひ荒尾市地域おこし協力隊のFacebookから見てください。



▲初めて耕運機を運転しました

◆前田道範隊員(平成28年3月着任/農業振興担当)

昨年は寒波から始まり、熊本地震、梅雨の長雨、8月の干ばつなどがあり、特産のナシ、ミカン、オリーブやハチミツにも大きな影響が出て、農家さんにとっては大変な一年だったと思います。

なかでもハチミツはミツバチの巣箱の中が猛暑で溶けたり、環境問題などで巣箱が激減したりしたとのことでした。微力ながら養蜂場さんの力になりたいと思い、レンゲソウの種をまきました。春にきれいな花が咲き、花はミツバチの重要な蜜源となります。ミツバチが蜜を取った後は刈って鋤き込むと、水稻栽培に肥料効果があると言われていいます。ことしは水稻栽培にもチャレンジしていきたいです。

荒尾の魅力、荒尾の情報をFacebook、Instagramで発信中



荒尾市地域おこし協力隊 Facebook



荒尾市地域おこし協力隊 Instagram



▲市役所2階に協力隊の活動を紹介します。フォトギャラリーを作りました